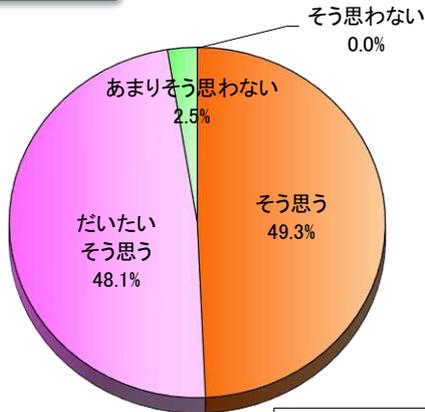


【教職員アンケート結果】

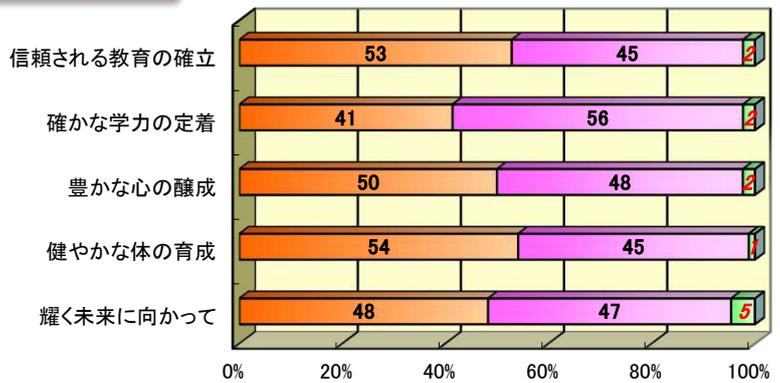
5年間の経年で、全ての質問項目を総合した[総合評価]では、最上位の「そう思う」の割合が、40.6%(R2)→53.0%(R6)→49.3%(R7)と前年度よりはやや低くなったものの、「そう思う」「だいたいそう思う」の肯定的な評価が、過去6年間 89%→91%→95%→97%→96%→97%と高水準で推移しており、**教職員が一丸となって、教育活動を計画的・重点的に改善してきた自負の表れと思われ**ます。

【観点別】でも、すべての観点で、否定的な回答が少なくなっている一方、「そう思う」よりも「だいたいそう思う」の回答の割合が多くなっている傾向がみられました。今後も、教育活動を一層充実させ、よりよい学校を目指して参ります。

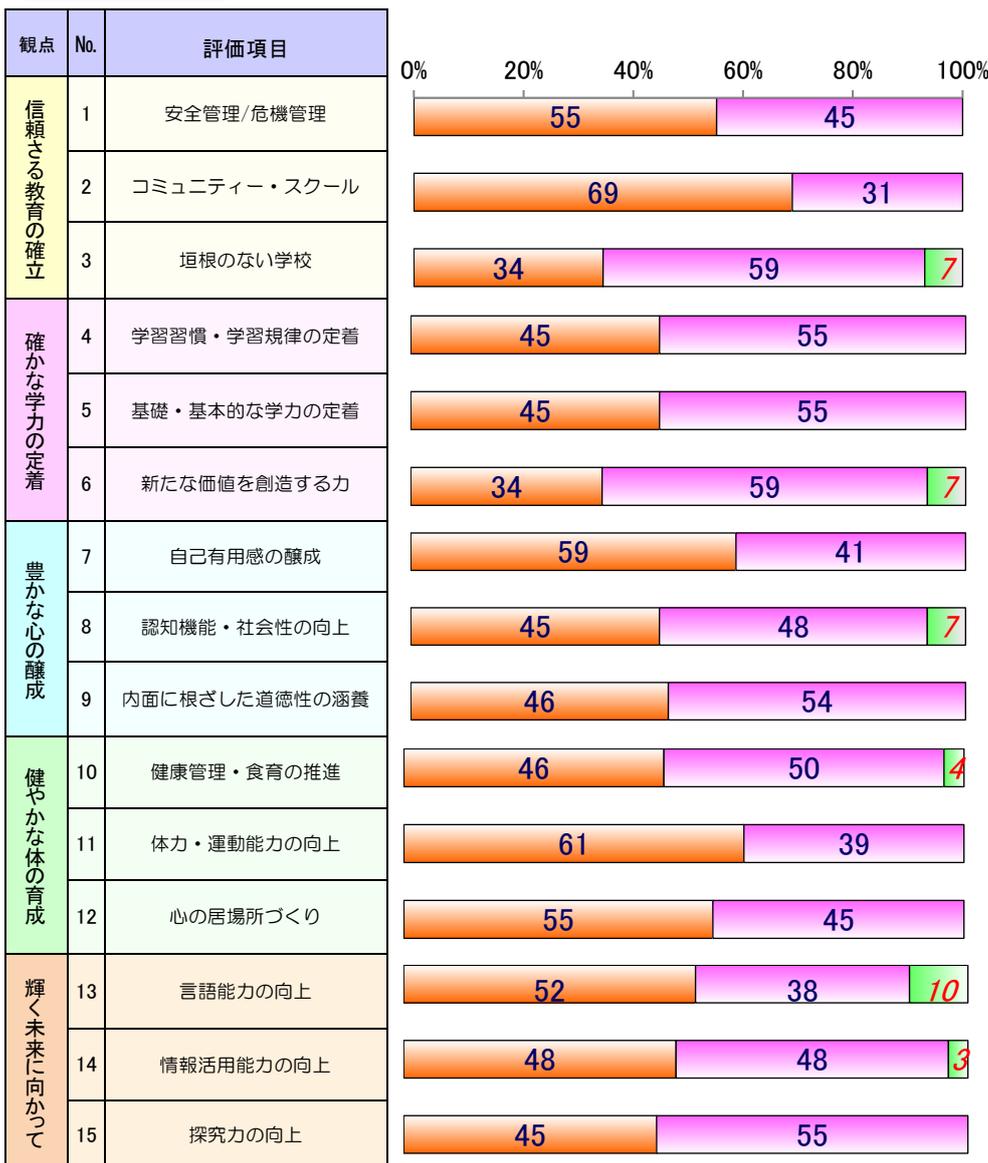
総合評価



観点別



評価項目別



数値化

100 点満点に換算

評価項目	7年度
コミュニティー・スクール	91.1
体力・運動能力の向上	88.8
自己有用感の醸成	88.2
安全管理/危機管理	87.2
心の居場所づくり	87.2
内面に根ざした道徳性の涵養	84.7
学習習慣・学習規律の定着	84.2
基礎・基本的な学力の定着	84.2
情報活用能力の向上	84.2
探究力の向上	84.2
健康管理・食育の推進	83.7
言語能力の向上	83.3
認知機能・社会性の向上	82.3
垣根のない学校	79.3
新たな価値を創造する力	79.3

【評価項目別】では、最重点課題の「垣根のない学校」「新たな価値を創造…」が最下位、続いて「認知機能…」「言語能力…」も低く、**目標設定の高さとともに、更に力を入れるべきとの教職員認識と意欲の高さも思われ**ます。

※ 各項目の評価を数値化（そう思う×7、だいたいそう思う×5、あまりそう思わない×3、そう思わない×1）その数値を100点満点に換算